

## 環境デーなごや「身近な自然体験会」実施報告書

行事名	青葉まぶしい東山の森を見てふれて、竹伐り体験！
事業期間 場 所	平成22年 6月 6日(日) 9時30分～12時00分 千種区なごや東山の森・平和公園南部「くらしの森」
参加人数	子ども・・・・・・・・ 10名 保護者・・・・・・・・ 10名 合計 20名
実施内容 (別添当日写真)	<p>9:30～9:35 開会式 あいさつ、スタッフの紹介など。参加者のほとんどが東山の森は初めてという方だった。</p> <p>9:35～10:40 散策 コースは別紙参照。 スホウチク、シホウチク、ホウオウチクなど珍しい竹を観察し、竹の整備の話をしたり、スイカズラの花のにおいをかいだり、ネジキの花やアワフキムシを観察したりと、五感を使って自然観察。アシ原の湿地では、笹舟をつくって水に浮かべて遊んだ。 また、炭焼き窯の前で作業している人から「ゴールデンウィークからずっと窯をつくってきたんだよ」と聞かされ、「たいへんだね～」という男の子の一言にみんなが笑う場面も。 なごや東山の森づくりの会の「子ども森づくり隊」がつくった「子どもドングリの森」では、どのような作業をしたかを説明。「どのくらいで森になるんですか？」という参加者の質問に答えて、里山の手入れと循環についても説明した。</p> <p>10:40～11:45 竹切り体験 まずはスタッフが竹の伐り方を説明しながら実演。最初はノコギリに慣れていない子どもたちも、親やスタッフに手伝ってもらって徐々にコツをつかむと、「休憩」の声にも振り向かずに作業に没頭。お父さんも熱中して竹を伐り、お母さんがその枝払いに追われる姿も。</p> <p>11:45～11:50 竹クイズ 「竹は一日に最高で何センチくらいのびるでしょう？」「竹は何科の植物でしょうか？」等のクイズに、元気よく「は～い！」と手を挙げる子どもたち。最後に、手入れをした竹の種類はスズコナリヒラということ伝えて終了。いろいろな種類の竹にふれあった半日だった。</p> <p>12:00 里山の家に着、あいさつをして解散</p>
備考	配布＝東山の森ガイドブック(一冊100円)、竹クイズ、くらしの森の竹のいろいろ

その他関係資料がありましたら、添付してください。



この草 な～んだ?(クズ)



この虫 な～んだ?(アワフキムシ)



笹舟つって浮かべたよ



初めて見たよ 炭焼窯



ここは子どもどんぐりの森だよ



竹の伐り方はこうやってするのよ



竹伐りは簡単だよ おもしろいな



枝払い カいっばい エイヤァ!



竹クイズ「竹は何科の植物でしょうか？」